

相馬市史編さん事業について

○ 刊行経緯

相馬市史編さん事業は、相馬市制施行 50 周年（平成 16 年 3 月 31 日）を記念し、相馬市のいにしえをたずね、新しい相馬市づくりと市の文化振興に寄与するため開始されました。

本事業では、学識経験者などからなる相馬市史編さん委員会を中心に、各分野の専門家を招いて、古くは相双地方の旧石器持代からの相馬市域の長い歴史や文化、現代に引き継がれた豊かな自然・民俗などの調査等を進め、これまでに、通史編 2 巻、資料編計 5 巻、特別編 2 巻のあわせて 9 冊を刊行してまいりました。

○ 刊行状況

市史を編さんする過程で蓄積した情報をいち早く市民にお示しすべく、相馬家家臣団を取りまとめた『衆臣家譜』を刊行。

その後、専門委員会による各分野の調査成果をもとに平成 24 年度より相馬市史刊行計画に則り、現在まで通史編 2 巻、資料編 8 巻を刊行し、令和 5 年度は通史編近世を編さん中、令和 6 年度は年表を刊行予定。



平成 29 年に刊行した『相馬市史 第 9 巻 特別編 2 民俗』は第 41 回福島民報出版文化賞において、自治体誌としては初の「正賞」を受賞。

令和 5 年 12 月 11 日から 12 月 25 日、ご仕法通りで令和 5 年 11 月 30 日に刊行した『相馬市史 1 通史編 I 原始・古代・中世』の刊行 PR を実施。考古資料や展示パネルを用いて掲載内容を紹介。



[illegible]